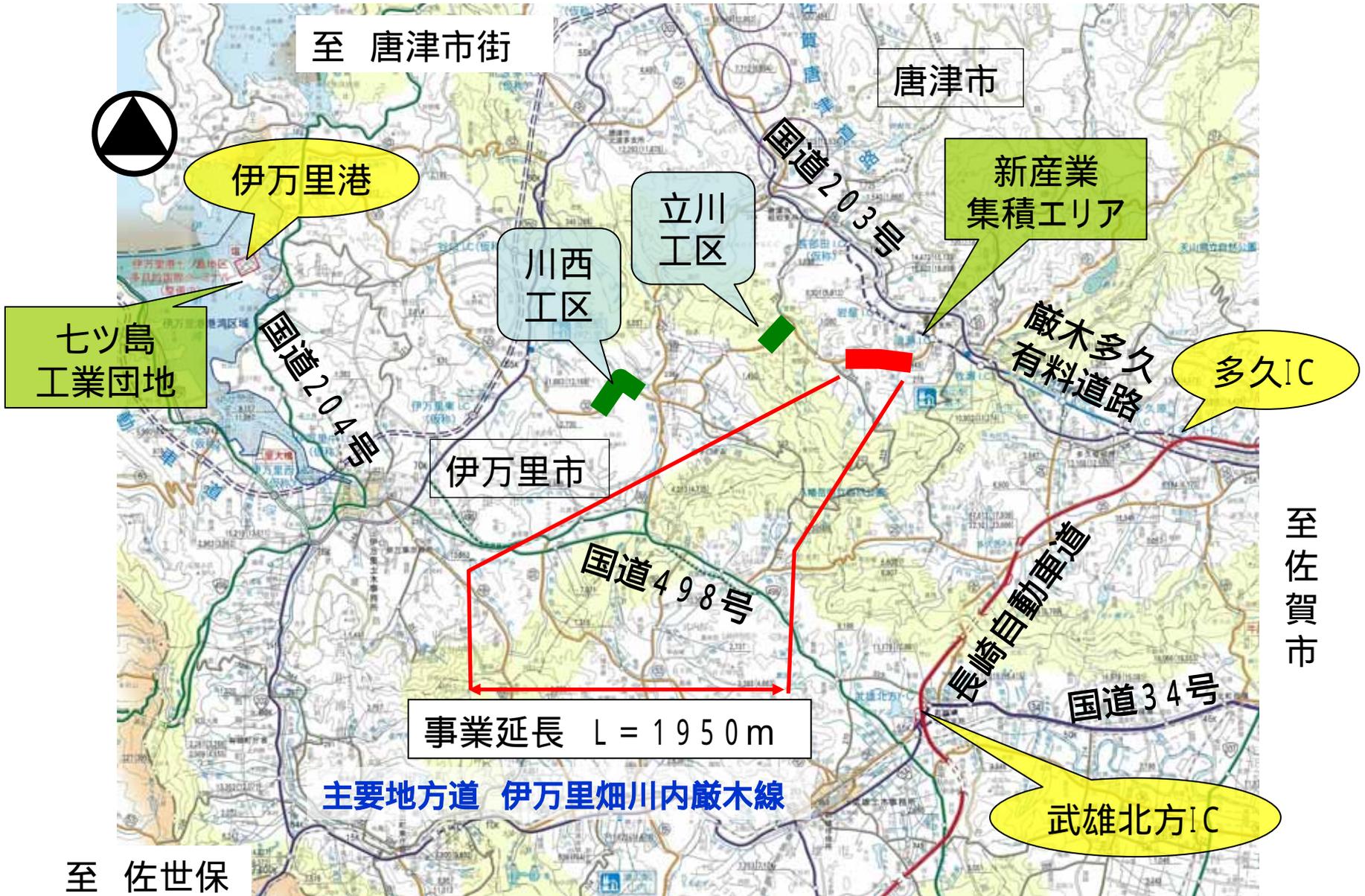


平成20年度 再評価

2. 路線名：主要地方道 伊万里畑川内巖木線
(浪瀬工区)

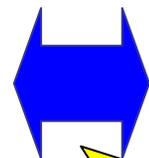
事業名：地域自立・活性化交付金事業

主要地方道伊万里畑川内蔵木線(浪瀬工区) 位置図



事業目的

伊万里港及び
伊万里の工業団地



長崎自動車道
(国道203号経由)

産業を支えるために
重要な道路

しかし、現道は・・・

幅員が狭く、線形も悪いことから、大型車の通行に支障

よって、改良により

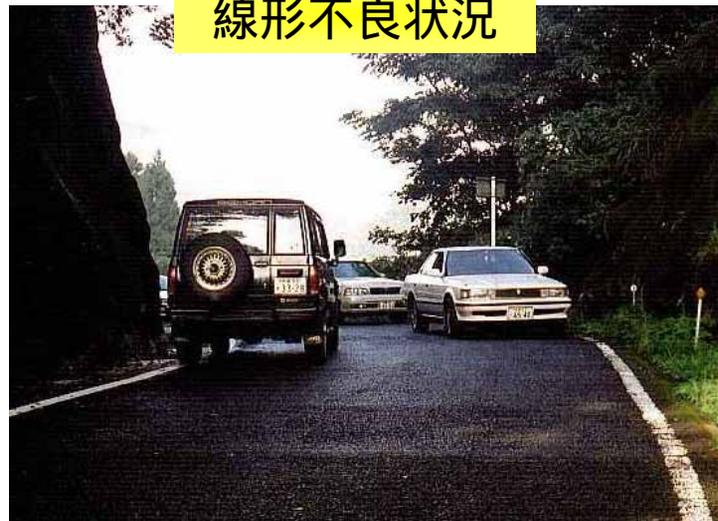
交通の円滑化を図り、産業の振興に寄与する

現況状況

線形不良状況



線形不良状況



狭小状況



主要地方道 伊万里畑川内巖木線(浪瀬工区) 事業概要

- 全体事業費: 20億円
- 工期: 平成11年度 ~ 平成23年度(予定)
- 全体延長: $L = 1950\text{m}$
- 事業内容: 道路改良 $L = 1,950\text{m}$

橋梁		3基
用地買収	53,800	m^2
家屋補償		3件

主要地方道 伊万里畑川内巖木線 平面図

全体計画 L = 1950 m

現道拡幅区間

560 m

至 伊万里市

至 唐津市
巖木町

凡例

黒	過年度施工箇所
青	平成19年度施工箇所
赤	平成20年度施工箇所
黄	次年度施工箇所



事業の進捗状況

	平成19 年度まで	平成20 年度	平成21 年度以降
事業費(億円)	12.3	1.0	6.7
進捗率(%)	61.5	66.5	100
用地進捗率 (%)	94.2	94.8	100

- 用地買収は、53,800㎡のうち、52,088㎡が契約済みである。
- 家屋補償は、3戸のうち、2戸が契約済みである。
- 工事は、浪瀬側がL = 360m完成している。

概成区間



バイパス未着手区間



事業の効果

【便益】

- 走行時間短縮便益 = 54.8億円
- 走行経費縮小便益 = 2.3億円
- 交通事故減少便益 = 2.8億円
- 合計 = 59.9億円

【費用】

- 事業費 = 22.5億円
- 維持管理費 = 2.1億円
- 合計 = 24.6億円

- 再評価時費用便益比 = $59.9 / 24.6$
= 2.4

対応方針

- 新産業集積エリア(唐津地区)として、唐津市厳木町うつぼ木地区が指定されており、平成21年から分譲が開始される予定である。
また、伊万里市と唐津市相知町の市境である立川工区や、伊万里市大川町の川西工区の整備が、今年度から来年度にかけて完了する。
以上のことから、更なる交通量の増加が見込まれる。
- 当該箇所については、依然として事業効果が発揮出来ておらず、危険な状況が解消されていないため、事業を継続し交通の円滑化を図る。